

みずほCustomer Desk Report 2019/08/26 号(As of 2019/08/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.66
TKY 9:00AM	106.48	1.1084	118.02	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.73	1.1153	118.17	1.2249	0.6756
SYD-NY Low	105.26	1.1051	117.28	1.2296	0.6778
NY 5:00 PM	105.35	1.1143	117.44	1.2195	0.6736
				1.2280	0.6755
NY DOW	25,628.90	▲ 623.34	日本2年債	-0.3000	1.00bp
NASDAQ	7,751.77	▲ 239.62	日本10年債	-0.2400	1.00bp
S&P	2,847.11	▲ 75.84	米国2年債	1.5291	▲ 8.20bp
日経平均	20,710.91	82.90	米国5年債	1.4133	▲ 8.38bp
TOPIX	1,502.25	4.19	米国10年債	1.5326	▲ 7.97bp
シカゴ日経先物	20,195	▲ 400	独10年債	-0.6805	▲ 3.45bp
ロンドンFT	7,094.98	▲ 33.20	英10年債	0.4775	▲ 3.90bp
DAX	11,611.51	▲ 135.53	豪10年債	0.9750	4.80bp
ハンセン指数	26,179.33	130.61	USDJPY 1M Vol	8.50	1.00%
上海総合	2,897.43	13.99	USDJPY 3M Vol	8.14	0.57%
NY金	1,537.60	29.10	USDJPY 6M Vol	7.81	0.46%
WTI	54.17	▲ 1.18	USDJPY 1M 25RR	-2.08	Yen Call Over
CRB指数	168.61	▲ 1.71	EURJPY 3M Vol	8.68	0.54%
ドルインデックス	97.64	▲ 0.53	EURJPY 6M Vol	8.28	0.29%

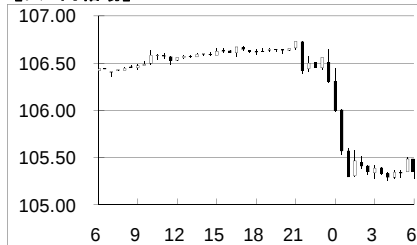
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月23日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	7月 0.5%/0.6%/0.6%	0.6%/0.6%/0.5%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	6月 0.0%	-0.3%
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演「経済は望ましい状況だが、著しいリスクが迫っている」		
	23:00	米 新築住宅販売件数	7月 635k	647k

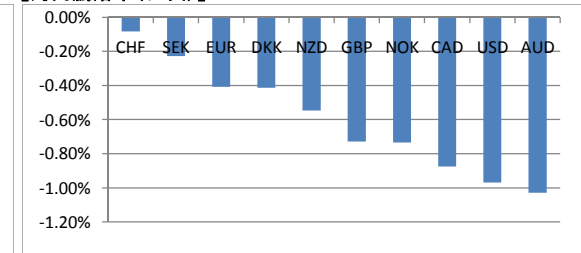
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月26日	14:00	日 景気一致指数・確報	6月 -	100.4
	17:00	独 IFO企業景況感指数	8月 95.0	95.7
	17:00	独 IFO指数(期待/現況)	8月 91.8/98.8	92.2/99.4
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月 1.0%	1.9%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	7月 0.0%	1.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.30-105.30	1.1120-1.1220	116.20-117.40

【マーケットインプレッション】

23日のドル円は下落。中国政府は米国による制裁関税への報復として、米国からの輸入品750億ドルに対して追加関税を実施する方針を発表すると、リスク回避的なドル売りが進行、106.30円台まで下落。注目されたパウエルFRB議長の講演は「景気拡大を維持するために適切に行動する」と述べるなど、市場からはハト派寄りの内容であったと受け止められドル売り材料となる。加えて、トランプ米大統領が中国の報復関税に対して直ちに對抗措置を取る方針を表明すると、米中通商問題への懸念からドル売りが先行、ドル円は106.00円を下抜け一時105.29円まで下落した。本日のドル円は先週末の流れを引き継ぎ下落推移を予想。本日朝方の取引でも一時104.40円台まで下落している。米中の緊張が再び高まった結果、市場ではリスクオフムードが強まっている状況。政府債や円など安全資産を求める動きが継続されるものと考えられ、ドル円の下落圧力が強まるものと推察される。

アジア	東京時間のドル円は小幅に続伸した。オセアニア時間、ドル円は一時106.35円まで下落する場面も見られたが、下値を試す展開とはならず106.48レベルで東京時間オープン。公示仲値の発表にかけて輸入企業によるドル買いに支えられたことでドル円は一時106.63円まで上昇。その後反落する場面も見られたが、東京時間午後に入ると日経平均株価や米長期金利が上昇したことを受けてドル円は底堅い展開となり、106.65まで上昇し、106.63レベルと海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.63レベルでオープンし、パウエルFRB議長講演を控え動意薄の展開。106.73円でNYに渡った。ユーロドルは1.1067レベルでオープン。米巡航ミサイル発射実験に対抗し、プーチン露大統領が報復措置を含め、軍事行動の準備を指示したとのヘッドラインが伝わり、地政学的にユーロ売りドル買いが進展、1.1052に低下し、1.1057でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はパウエルFRB議長のジャクソンホール講演を控えて、106.60近辺で小動き。米金利が堅調に推移する中、106.73までじりじりと上昇し、そのまま106.73レベルでNYオープン。NY朝方は「中国が米国製品750億ドル相当の報復関税を発表」、「中国が12月15日からの米自動車に対する25%関税を再開」とのヘッドラインが伝わり、ドル売りに反応したことから106.39円まで下落。その後、106.40でもみ合う展開が続いたが、パウエルFRB議長が講演原稿で「経済は望ましい状況だが、著しいリスクが迫っている」と述べており、目新しい内容は見当たらなかったものの、ドル売り優勢となる。またトランプ米大統領が「本日午後中国の新たな関税措置に対応する」と述べ、米中貿易戦争の激化懸念が再燃し、ドル売りが加速したことから106.00を下抜け、105.29円まで下落。米金利や米株が低下し、リスクオフムードが強まる中、じりじりと105.26まで安値を更新。トランプ米大統領の新たな関税措置の発表が警戒される中、NY終盤も安値圏での推移が続き、結局、105.35レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは様子見ムードが強い中、1.10台後半の狭いレンジで推移。NY早朝にかけて米金利の堅調推移にドル買い優勢となり、1.1057レベルでNYオープン。パウエルFRB議長講演の直後に安値1.1051をつける場面もあったが、トランプ米大統領の発表にドル売りが進んだことから1.11台を回復し、一時1.1153まで上昇。NY終盤は小幅値を戻し、1.1143レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・田家